



CIRCUIT OF CHOICE
SPEECH

幽語の回路

酒井 一吉 K A Z U Y O S H I S A K A I

2025 8.1 FRI - 10.19 SUN

熊本市現代美術館
ギャラリーⅢ / 10:00-20:00 / 火曜休館

入場
無料

主催：熊本市現代美術館〔熊本市、(公財)熊本市美術文化振興財団〕
助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

幽語の回路

長崎出身の現代アーティスト酒井一吉の個展を開催します。

酒井は、祖父母が被爆者であるという出自から「ナガサキ／NAGASAKI」を見つめ、これまでに、被爆で倒壊した教会を題材とした

「浦上天主堂再現プロジェクト」や《平和祈念像》に扮したパフォーマンスなどを通して、「ナガサキ」への問いを投げかけてきました。

本展で酒井が発表する作品は、長崎市の《平和祈念像》に見られる「手」の造形を起点としながら、「語り」をめぐる制度や身体性について光を当てるものです。

彫刻が「手」で語るものは何か。また聴覚や視覚に障害をもつ人の被爆体験について、手話の「手」、点字という「手で認識する言語」をモチーフに、

“語るべき人の語られなかった証言”についても取り上げます。

戦後80年、戦争体験者による直接の「語り」が不可能になりつつある現実を前に、しばしば未来への継承が議論に上っています。

語る主体の不在を危ぶむ声は小さくありませんが、酒井の「語り」に対するまなざしは、静かな彫刻の「手」、制度の中にある「語り」の在り様をとらえ、

さらには多くの必然の「沈黙」があることを浮き彫りにするでしょう。幽語—幽かに語る・語られる声—。その声を、私たちは聞き取ることができるのでしょうか。



1



2



3



4



5

1.《痛みを持たぬ者が記憶を語れるか?》2025 2,3.《影 空洞と重なり》(部分) 2023
4.《Re: Silence》2025 5.《平和祈念像パフォーマンス》2015 渋谷において [参考作品]

酒井 一吉 Kazuyoshi Sakai

1985 長崎出身

2008 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域 卒業

〈主な展覧会〉

2024 「KOGANECHO NOW」 高架下スタジオ Site-A ギャラリー

2024 「UrbanNesting：再び都市に棲む」(BankART Life7) BankART Station

2024 「hallucination」伊勢佐木町センタービル

2023 「空洞と重なり」LOOP HOLE

2022 「志田塗装 虚実の皮膜」AZUMATEI PROJECT

2021 「横浜 あの街を歩く・「草枕」のように、手書きの地図で」東京ベイガード ベネチア号

2021 「現れの間」AZUMATEI PROJECT

2015 「浦上天主堂再現プロジェクト」浦上天主堂

アーティスト・トーク

「幽語と対話する —AIとともに語る記憶と沈黙—

出品アーティストの酒井一吉が、
生成AIとともに展覧会についてトークをします。

日時 8月2日(土) 13:30—14:30 会場 ギャラリーⅢ

参加無料 / 事前予約不要

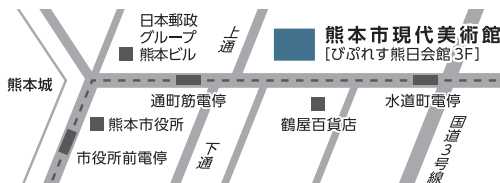
熊本市現代美術館

Contemporary Art Museum, Kumamoto

熊本市中央区上通町 2-3 びぶれす熊日会館 3F

TEL : 096-278-7500

www.camk.jp



■ 阿蘇くまもと空港からリムジンバス「熊本駅前」行(約40分)

■ JR 熊本駅から市電またはバス(約15分)

■ 「通町筋(とおりちょうすじ)」バス停・電停下車 目の前

* 美術館専用の駐車場はございません。

びぶれす熊日会館駐車場(有料)や周辺のコインパーキングを
ご利用ください。